

## 沖縄で地震・津波が起こったら？



10月8日(水)、第5回ふくふく講座「どうする？沖縄で地震・津波が起こったら」が、男女共同参画支援センターふくふくにて開催されました。講師の稲垣暁氏(防災士・沖縄大学非常勤講師)は、防災の基礎知識や防災に関する意識を高めることの大切さに加え、男女共同参画の視点を交えた講話を行いました。

## 市立博物館へ本を贈りました



10月20日(月)、前市議会議長の呉屋勉さんから市立博物館へ本の寄贈がありました。贈られた本は『青い海』の創刊号(1971年)から最終号(85年)までの145冊で、沖縄の学術・時事問題や民俗・児童文学など幅広いジャンルを扱った興味深い内容です。呉屋さんは「市民の皆さまに活用してもらいたい」と話しました。

## 60周年を記念し育英会へ寄付



9月18日(木)、コザ信用金庫(上岡義正理事長)から市育英会に対し、創業60周年事業として60万円の寄付金が贈呈されました。同金庫の金城馨専務は、「最も大切な財産である人材の育成に役立ててほしい」と語りました。

## さまざまな職業人から学ぶ



10月7日(火)、普天間小6学年を対象にキャリア教育授業が行われました。学校支援地域本部事業コーディネーターを通し、ワインソムリエの濱田聖子氏、佐喜眞義肢製作所の佐喜眞保氏、琉球ガラスジュエリープロデューサーの稲嶺佳乃氏にボランティア講師を引き受けてもらいました。これまでの経緯や思いを基調とした授業の中で、子ども達は挑戦することの大切さを学びました。

## 新しい婦人連合会の役員です！



9月10日(水)、市婦人連合会(新城道子会長)の新役員が市役所を訪問し、佐喜眞市長へ各地域における活動報告を行いました。新城会長は「婦人連合会は日頃の活動を通して地域を支えている。今後は若い会員の加入を進め、活動を広げていきたい」と今後の抱負を述べました。

## 地域の子どもたちへ遊具を寄贈



10月1日(水)、サンフティーマの運営・管理を行っている(株)ティ・エム・オ普天間(與那嶺務代表取締役)が、普天間幼稚園へ三輪車、普天間第二幼稚園へ図書の寄贈を行いました。地域への日頃の感謝と子どもたちの健やかな成長を願い、毎年取り組みを継続しています。